

# 協議会ニュース

号 発行年月日 平成五年四月十五日  
刊 全国病児保育協議会事務局  
創 1953 谷村常吉・高見吉・小川一郎・大庭一郎

## 始動しはじめた病児保育

全国病児保育協議会

会長 田中 勝也

副会長 保坂 知子

いよいよ春始動。芽吹きはじめた木々の緑や花々が日射しの明るさと共に心をはずませる季節となりました。皆様お元気にお過ごしの事と思います。

さてこの頃、地域の子育て支援ということで保育の多様化の必要が云われています。従来か

開始され「有病児デイケアに関する研究班」の仕事もまとめの大詰めの時期を迎えて国の病児デイケア制度づくりに向けて確実に鼓動が伝わり、春に向けての始動が感ぜられます。

一月末には各病児保育室とも流感のとりわけの多忙さの中、入室状況調査の個人調査票づくりに御努力いただき本当に有難うございました。皆様の必死のとり組みのお陰で本当に早いペースで調査票が回収され、研究班一同感謝しています。

厚生省との懇談実現

一月二十一日には翌日からの

日本保育園医協議会に上京する

会が「求められる保育の姿」をテーマに東京都内で開催され、開会に先だっての「保育の多様化と保健活動」のサテライト、イベントでは四人の講師の中三人が病児保育についてふれられ、病児保育が大変今日的な印象づけられました。二月十三日は研究班会議に上京、田中課長も出席され、冒頭、全国病児保育協議会の活動、経過を報告いたしました。

一月中には札幌天使病院の小児科より、二月二十四日には九州天草本渡市の保育課より、又二月二十六日には広島因島市から、全国からの枚方病児保育室及び事務局訪問が相次ぎ、全国各地で如何に病児保育が望まれているか、お話し乍ら切実な思いにかられました。  
今年度も是非、「一緒に」「努力と前進をお願いします。



病児保育は今日的テーマ

尚一月一・十三日、二十四日

は第五回日本保育園医協議会総

# 乳児の「ミニコミュニケーション機能



横浜国立大学教授

小林 英万文

活動二日誌

(平成四年)

十一月二十五日

《見学》

朝日新聞掲載 (家庭欄)

長崎大学教育学部  
学生二人。

十一月十三日

コミニケーションの発達は、認知機能の発達と関わりを持っている。ピアジェによると、この過程は、感覚運動期の第一段階と第二段階に相当する。発達的には、反射の使用の段階であり、手や足を動かすことを繰り返したり、手を口に持つて行きしゃぶったりする第一次循環反応の段階である、行為そのもの

十一月二十四日

スタート

武庫川女子短大学生二人。

《見学》

大東市医師二人。

一月六日

(平成五年)

読売TV「ニューススクランブル」にて「病児保育」

上映。

一月十九日

《見学》

大東市医師二人。

一月二十二日

保坂会長、藤本副会長、野澤評議員、厚生省へ要望書提出、懇談。

生まれて三ヶ月頃までの乳児

自己内部要求の段階

(生後〇～三ヶ月)

生まれて三ヶ月頃までの乳児

視線を合わせて見つめ合うやりとりの中で、互いの微笑みが生まれ、コミニケーションの基盤が育っていく。それゆえ、乳児には眼を見つめて話しかける

人と人とのつながり、触れ合い、伝え合う関係をコミニケーションという。人は、人とコミュニケーションを持つて、一般的に人の感情や意志の手段が中心である。しかし発達初期の子どもの場合、表出言語がまだ十分にないので、表情とか身ぶりによるもの、触覚や音、視覚に訴えるもの等、言語以外の伝達形式を使うことになる。

この言語期以前にある乳児のコミュニケーション機能を、育てあげることは、認知(知能)を含む全面発達の上で意義がある。コミニケーションの発達は、子どもの以下の関係性の要求を援助することから説明できる。①自己内部要求、②自己外界要求、③自己循環要求、④自己発達要求

は、泣いたりぐずつたりすることで、自分の空腹や排泄等の生理的欲求を表出している。回りの人人が、それに応じることで、子どもは安心感を持ち、行動を安定させる。最初は、単なる要求の表出であった行動が、人との関係で繰り返されることにより、要求を表出するために、泣き、ぐずるようになってくる。つまり、泣く、ぐずる行動が、自分の要求を伝える手段として使用されるようになる。これは、人と人との間に生きる人間にとて、発達に重要な過程であり、言語の記号的要素の前段階である。

乳児は早い時期からあやしてくれる人や話しかけてくれる人の顔をじっと見るようになる。視線を合わせて見つめ合うやりとりの中では、互いの微笑みが生まれ、コミニケーションの基礎が生まれる。それは、大人の働きかけに依存している。

この時期に見られる機能は、生後二ヶ月までの乳児のコミニケーション機能

ユニケーション機能は、MEP

A-II (文献)による発達アセスメントを参考にすれば、以下のような育ちのあることが知られている。これは、認知機能やムーブメントの保育の関わりでヒントになるものである。

- 抱かれると表情に変化が見られる。
- 近寄ると顔をじっと見る。
- 話しかけに反応する。
- 人の動きを目で追う。
- 人の声のする方を向く。
- 笑顔で話しかけると、微笑む。

#### 望まれるムーブメント環境（例）

- 子どもを抱っこして、体をゆっくり揺すってあげたり、話しかけたりしてあやす。この時、子どもの表情に応じて、関わりのテンポを調整する。
- 子どもと向かい合い、「アッブブー」等をして笑顔で視線を取り入れ、笑い反応の循環を援助する。

#### 自己内部要求の段階

(生後四ヶ月)

生後三ヵ月までの乳児の要求

（欲求）は、自己内部の生理的

なものが中心であった。四ヵ月を過ぎると、外界に要求対象が広がっていく。発達における、自己から外界への広がりは、コミュニケーション機能の一つの

節目をつくる。子どもはほしいものがあれば、手を伸ばしてつかもうとするし、人に対しても愛着を示し、手を出してくるようになる。また、近くの人に向かって声を出すようになる。

ピアシエによれば、これらの現象は、認知発達での第二段階

の第一次循環反応から、第三段階の第二次循環反応に発達して

きた現れと説明されよう。つまり、この時期の子どもの発達は、おもちゃを取って振ったり、ベットのシーツを引っ張って動作を繰り返すなど外界のものを取り込んだ循環で生まれるのである。このことは、子どものベッド

ト環境や乳児保育の保育室に、

かして触れなくなるようなおもちゃなどをおいて、感覚運動の循環を促進できるようになる。

（つづきは次回に掲載します。）

また、外部のものに対する要求の大きな変化は、模倣による取り込み要求の目覚めである。

特に、「パパ…、ママ…」など喃語による音声模倣が可能になること、そして、それが機

嫌の良いときに出現することが多い」とから、ムーブメント等の感覚運動による働きかけの必

要性を示唆するものである。

この時期に見られる機能

生後四ヶ月にある乳児の

コミュニケーション機能は、概ね以下の通りである。（MEP

A-II 参照）

- 親や特定の人がわかる。
- 身体を動かす遊びを好む。
- 愛着を示し、手を出してくる。
- オモチャ等欲しいものを取ろうとする。
- 人に向かって声を出す。
- 「イナインバイバー」をおかしがる。

#### 《見学》

熊本県本渡市（天草）職員。  
二月二十六日

#### 《見学》

広島市因島市職員、保母。  
三月二十五日

#### 《見学》

高橋どんぐり保育室、会長  
他2名。

一月二十一日  
《見学》

札幌市医師（天使病院小兒科部長）他一名。

一月二十六日  
東村山市議員七名。

一月十三日  
出席。（東京）

一月二十四日  
枚方市小児科医師。

二月二十三日  
《見学》

保坂会長 研究班会議に出席。（東京）

二月二十四日  
《見学》

松井市小児科医師。

二月二十九日  
《見学》

熊本県本渡市（天草）職員。  
三月二十六日

## 施設紹介

病院あけつくし保育所は、今から二十年前の一九七三年五月に大阪府寝屋川市に誕生しました。

病院保育所が誕生したきっかけになつたのは一九七〇年夏に市内全域でヘルペスが大流行した事件です。

保育所によつては、一週間もクラス閉鎖をする所もで、父母に計りしれない苦労をかけました。

この大変な経験を二度とくり返さないために、「病院保育所をつくる会」を保育関係者で発足させ、ねばりづよい運動を行なつて、広範な市民と行政の理解、小松病院の支援を得、病院保育所が誕生しました。

つくし保育所の特徴は、運動の副産物でもある、共済会方式の運営形態です。

共済会には、1000円の年会費を払えば誰でも入会可能です。

つくし保育所のことについて私はご存知の方も多いと思いますので、今回はつくしの看板でもある共済会方式について共済会会长の高瀬さんに機関誌編集部から伺つてみました。

二ークな方では、子どもさんが、もう結婚されていて、これから生まれてくるお孫さんのために入つておられるという方もおられます。

又運営が大変だろうからといふことで、子どもを保育所に預けていないにもかかわらず会員にならでいるという方もおられます。しかし、大多数は保育所に預けておられる会員です。

質問一・共済会を維持される点での苦労はいかがですか？

高瀬・大変かも知れませんが、維持のコツは毎年不可能かなと思えるような目標に挑戦しつづけてきた」とど、共済会の運営委員会に共済会運営の専門部を作つて、いろいろな方の知恵と力を借りるようにしてること、又つくしの保母さんが、日頃から保育所運営委員さんとよく結びつき、運営委員さんと一緒に、なつて目標達成のための大きな力になつていていることです。

質問一・つくし保育所の共済会会員には、どんな方がなつておられるのですか？

高瀬・会員さんは、いろいろな方がなつておられます。今後ともぜひ活躍下さい。

編集部より

創刊号の発行が編集部の不慣れから大変遅くなり申し訳ありませんでした。今後の発行予定は七月、十月、一月です。

各施設には今後とも、原稿の執筆依頼、資料のご提供等何かとお世話をかけることと思いますが、何とぞよろしくお願ひします。

今回の紙面を読まれての、ご感想や、載せてもらいたい記事などもぜひ協議会事務局までお寄せ下さい。

それから、機関紙の名称も何かいいものがあれば、アイデアをお寄せ下さい。

編集部では、協議会全体の動きがよくわかるような紙面づくりを今後も心がけてゆきたいと考えています。又いろいろな施設をできるだけ紹介するとともに、日々の看護・保育に役立つ記事などを紹介していく予定です。

今後ともよろしく指導ご鞭撻をお願いします。